

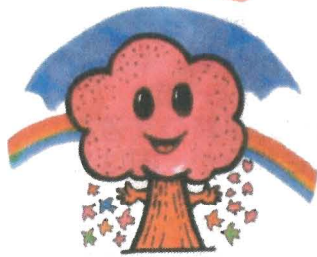
桜並木のわ

第6号

2008年7月6日

上北沢桜並木会議 発行

上北沢桜並木会議ホームページ
<http://www.sakuranamiki.org/>
お問い合わせ先 e-メールアドレス
info@sakuranamiki.org



上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

毎週日曜日に行う日曜ミーティングと、烏山総合支所からもご出席いただいている月1回の月例会における話し合いをもとに、活動しております。

会員皆様の手で、「わ」を広げていきませんか。

日曜ミーティングへの、ご出席をお待ちしております。
(毎週午前10時～12時・上北沢区民センター)

5月・6月の活動報告と第5回総会の報告

- 5月 4日(日)第1日曜日はミーティング前に桜並木の清掃、タバコの吸殻が多く捨ててありました。
- 5月18日(日)街歩き・その2『古府中道と滝坂道』を実施しました。
- 5月20日(火)第47回月例会：区からは、「桜並木の毛虫駆除のための薬剤散布の実施」と「松沢病院南側道路の形状変更について」の説明がありました。

6月15日(日)第5回総会 (上北沢区民センター第1・2会議室にて、出席者31人)

19年度の活動報告・会計報告・20年度の活動計画説明後、京王線立体化問題などについて話し合いました。

☆20年度活動計画

- *桜並木の維持・保全活動
- *京王線連続立体化問題への対応
- *円滑な運営のための会則の見直し作業の開始(プロジェクトチーム)・来年総会は新会則での開催を予定
- *上北沢小史作成のための資料集め
- *桜並木街区を守るため、界わい宣言の調査・研究の続行

- 月例会 7月15日(火) 18:30～ 上北沢区民センター 第1会議室



桜並木の維持・保全活動

●H19年度の活動とH20年度活動計画:

☆ H19年度の基本となる活動は、花芽観察会と実態調査でした。

*観察会や実態調査にて観察したり、樹木医に指摘を受けた事を実行に移す事が大切でした。

*世田谷区は、枝きりや植え替・害虫対策など機敏に対応し、実行してくれました。

・樹勢の衰えの要因と対策は、次の3点です。

1. 80年経ったソメイヨシノの老化――胴巻きの継続
2. キノコ、特にナラタケ病――植え替え、土壌改良剤の使用
3. 車の衝突防止や車から出る排気ガス――衝突防止表示の設置・アイドリングストップのポスター掲示

☆H20年度の活動計画は、引き続き不定根の養生、毛虫対策として薬剤散布、キノコ対策としては根株腐朽菌を持つナラタケにより侵された桜木No.5の伐採とそのブロックの土壌改良を水道工事に合わせて行います。ファミリーマート前の桜木の植樹も課題の一つです。

桜並木の話

◎6月26日(木)午前10時から、害虫コスカシバの幼虫退治作業を会員7名で行いました。

◎桜木に寄生しているキノコについて、削り取ることはできないかという質問が寄せられますが、専門家の中でも削り取って薬剤を塗ったほうが良い・効果はないなどと意見が分かれています。

上北沢桜並木にとってはどうすることが一番良いのか、今後の活動の中で、結論をだしていく予定です。



会員の皆様のご意見・松沢病院問題の報告



松沢病院問題

看護学校跡地にできる研究所(延べ20,000㎡・5階建)の建設工事は進行中。



有志が参加していました松沢病院医療観察病棟反対の会(上北沢町会)は、連合町会が建設に同意したため、存在意義がなくなり、6月5日に解散いたしました。安心・安全の保障を得たとは言えず、残念な結果となりました。何か問題があった場合には、協議会に出席する上北沢町会役員までお話しくださいとのことです。

総会での話題



総会出欠ハガキに自由にご意見を書き添えました。

ハガキでのご意見

会員にお願いしたアンケートのご意見欄から

☆京王線連続立体化事業について：

- ◎世田谷区に世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課ができて、上北沢地区でも駅周辺を考える「街づくり勉強会」が発足。やがて「街づくり懇談会」となり、数ヵ月後「街づくり協議会」になる予定。
- ◎連続立体化ということは、鉄道を地下または高架に移動し、道路の交通を良くするという道路事業。道路特定財源は一般財源化されるが、国は交通事業に使うことは認めている。道路特定財源の道路とは、骨格道路＝都市計画道路のこと。補215は含まれる。交通事業とは、税金を使って行う都市計画事業で、鉄道本体を高架・地下にしたり、そのための用地の買収を行い、高架・地下に線路を引く。複々線にするとか駅舎を整備したりするのは電鉄会社が行う事業。

☆皆様のご意見：

- ・桜並木とその街区の風景資産認定に尽力したとき、風景資産となれば壊されることはないという話だったが。
- ・補215は事業化決定されてしまうと、進行をとめることはできても計画を消すことはできない。決定されないように早めの対策が重要。
- ・変電所近くの線路沿いに住んでいるので、高架・地下どちらでも転居を余儀なくされる。
- ・桜並木があることで、住民が集まり、真剣に討議している。都計道への対応も早い。上北沢に住んでよかった。
- ・松沢病院の緑を住民も楽しめるようにできないか。
- ・桜並木がいつまでもあってほしい。高齢者が自由に歩ける環境を守りたい。

- A. 桜並木を大切に守っていききたい。 B. この環境を守っていききたい。
- C. 地域のまとまりを強めるためにも、大切な活動。 D. 日頃の活動に感謝。
- E. 意見が集約しにくい。軸は桜並木にすべき。
- F. たばこの投げ入れに悩まされている。路上禁煙など何の意味もない。
- G. 松沢病院など本来関係ないと思う。 H. 頑張ってください。(など)

- A. 緑を減らさない。静かな今のままを後世にのこしたい。便利が必ずしもよいとは思えない。不便も好感です。
- B. 多少不便でも今の牧歌的な雰囲気を残した方が街の特色(個性)を残せる。
- C. この街をいじることは即ち現状をこわすこと。現状に何の問題があるのか。鉄道複々線化の必要があればやむを得ないが影響は最小限に止める。
- D. 踏み切りがなくなることで線路の北と南がわの一体化ができるような気がする。高齢者、身体の不自由な人も生活しやすくなる。
- E. 静かな桜並木の原状を維持が望ましい。(など)

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお祈りしま〜す。

討論も白熱。総会に出席してくれて嬉しかったのじゃ。



記事、写真の無断転載はご遠慮ください

桜並木の緑が雨に濡れることの多いこの時期、総会も無事に済み、本年の活動計画にそっての活動の始まりです。雨あがりの桜並木に日が差し込むときの美しさ。あなたはどのような桜並木が好きですか